

2023年6月2日

Audi Sport、来年のダカールラリーに向けてテストを実施

- パンク原因の解析と解決策を検討
- 異なる条件でテスト
- 3名のドライバー全員と2名のコドライバーがテストに参加

(ドイツ本国発表資料) 2023年5月31日、ノイブルク アン デア ドナウ : Team Audi Sport は、2023年のダカールラリー終了後に、サスペンションおよびタイヤの問題を分析するためのテストを準備しました。今年1月に開催されたダカールラリーにおいて、Audi RS Q e-tron は、15日間のイベントで合計14回の表彰台を獲得した一方で、様々なトラブルに遭遇しました。革新的な電気ドライブコンセプトは完璧に機能しましたが、タイヤの問題により、今年最も重要なこの大会で、マティアス エクストローム/エミール ベリークヴィスト、ステファン ペテランセル/エドゥアール ブーランジェ、カルロス サインツ/ルーカス クルスの各チームは、上位争いからの後退を余儀なくされました。チームは1月から実施してきた分析に加え、5月にサウジアラビアでテストを行い、原因の調査を完了しました。

Audi Motorsport 責任者 ロルフ ミヒェルは、チームに明確な目標を設定していました。「私たちのテクノロジー、チーム、そしてドライバーとコドライバーは、優勝争いに参加できるポテンシャルを秘めています。それぞれのステージにおける結果は、それを証明するものです。そのため、タイヤのパンクやその他の小さなトラブルによって順位が後退してしまったことを、非常に残念に思い、解決策を見つける必要がありました。私たちが体系的に計画したテストでは、理論的な分析が行われ、来年に向けての重要なステップとなりました」。アウディのダカールラリー参戦パートナーである Team Q Motorsport、マティアス エクストローム、カルロス サインツ、ステファン ペテランセルの3人のドライバーは、この目的のため、5月の第3週にサウジアラビアで数日間にわたって行われたテストに参加しました。

チームは、公式タイヤサプライヤーである BF Goodrich の2種類のタイヤを使用してパフォーマンスを比較し、1月のレースで発生した状況を再現するために、様々なテストコースで走行を行いました。エンジニアは、グラベル（砂利）と砂を含む約13kmの高速コースで、パフォーマンス面の調査を行い、石の多い約11kmのコースでは、耐久性とダメージの種類に重点を置いてテストを実施しました。シャシーは荒れた路面でも効率よく安定して動作する必要があるため、ショックアブソーバーにも焦点が当てられ、シャシーに設置された荷重および加速度の測定センサーが、この分析をサポートしました。

Q Motorsport チーム代表 スヴェン クヴァントは、次のように総括しています。「今回のテストは、非常に過酷な条件下で実施されました。Audi Sport がこのテストを完璧にサポートしてくれた結果、走行中のタイヤのパンクを再現することができ、これにより、1月のレース中に発生した状況をより良く分析することが可能になりました。サスペンションの設定が、タイヤのトラブルに密接に関係していることが判明したために変更を加えました。まだ完璧な解決策を見出したわけではありませんが、このテストは大きな価値があり、私たちは正しい方向に進んでいます」。1月のアクシデントで負傷したカルロス サインツは順調に回復し、コドライバーのルーカス クルスとともに、今回のテストに参加しました。このテストでは、ステファン ペテランセルもルーカス クルスとコンビを組みました。ロルフ ミヒェルは、次のように説明しています。「今回のテストは肉体的に非常に過酷なコースで実施されたため、1月に負傷したステファン ペテランセルのコドライバー、エドゥアール ブーランジェは参加を見送りました。彼の体調はまだ万全ではないため、さらなる治療のため、過度なストレスは禁物です。これは、正しい判

断だと思えます」。マティアス エクストロームは、ペアを組むコドライバー、エミール ベリークヴィストとテストに参加しました。

Team Audi Sport は、サウジアラビアで行われたテストで、最高 42°C の気温と、度重なる強風に見舞われ、チームスタッフにとっても条件は厳しいものでした。電気ドライブシステムと reFuel を使用した低エミッション エネルギーコンバーターを搭載した Audi RS Q e-tron は、問題なくテストを完了しました。2,568km に渡り高い信頼性を示した Audi RS Q e-tron は、革新的なコンセプトの成熟度を示しただけでなく、厳しい日程の中でプログラムを体系的に完了することができました。サウジアラビアでのテストは、技術的な調査から得られた成果に加えて、意思決定や運転スタイルの面でも貴重な洞察を得ることができました。チームは本拠地に戻り、記録したすべてのデータの包括的な分析を行う予定です。このように、アウディと Q Motorsport は、2024 年のダカールラリー参戦に向け、開発および組織における次のステップの準備に取り組んでいます。

※本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社
アウディ ジャパン 広報部

アウディ ジャパン プレスサイト
<http://www.audi-press.jp/>

報道関係者お問い合わせ：
<https://audi-press.jp/contact/>

お客様お問い合わせ：
アウディ コミュニケーション センター
0120 - 598106



アウディ グループは、プレミアムおよびラグジュアリーセグメントの自動車およびオートバイのメーカーです。グループに属するアウディ、ベントレー、ランボルギーニ、ドゥカティのブランドは、13 カ国 22 か所で生産されています。アウディとそのビジネスパートナーは、世界 100 以上の市場に存在しています。2022 年、アウディ グループは、161 万台のアウディ、15,174 台のベントレー、9,233 台のランボルギーニ、および 61,562 台のドゥカティを販売しました。2022 会計年度において、アウディ グループは総収益 61.8 億ユーロ、営業利益 7.6 億ユーロを達成しました。世界中で、アウディ グループでは 2022 年に 87,000 人以上が働き、そのうち 54,000 人以上がドイツの AUDI AG で働いていました。魅力的なブランド、新しいモデル、革新的なモビリティサービスにより、グループは持続可能で個性的なプレミアムモビリティプロバイダーへの道を着実に歩んでいます。
